

日本都市学会ニュース NO. 40

2015. 07. 03

発行 日本都市学会 〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26 栄CDビル5A OASIS都市研究所内
 TEL 052-252-7741/FAX 052-251-5058
 郵便振替 00130-0-512255/三菱東京UFJ銀行栄町支店普通口座 0126767
 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

戸所隆前会長、退任ごあいさつ

戸 所 隆

私は日本都市学会会長を2015年3月31日に退任しました。2期4年間の会長職を無事に務められましたのは、会員・役員諸氏のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

私が会長に就任したのは東日本大震災直後の2011年4月1日でした。2011年度大会が福島開催と決定していたため、就任直後から福島開催の可能性とその是非の判断を迫られました。結果として東北都市学会関係者の熱い想いにより被災地福島市での震災復興をテーマとした大会開催ができました。未曾有の原子力災害の地域であったため、万一の場合は他地域開催も視野に入れつつの準備でした。それだけに成功裡に大会が開催できましたことに、東北都市学会をはじめ会員の皆様に改めて御礼申し上げます。

私の日本都市学会入会は1968年であり、当時は高度経済成長の工業化社会を理論面から支える「都市学の成立」が論議されていました。私の会長就任は工業化社会から知識情報社会に転換し、東日本大震災に伴う新しい開発哲学が求められていた時でした。そこで、知識情報社会を理論面から支える「新しい都市学の成立」の議論を学会として行うことをお願いし、ワーキンググループも設置されています。老舗の学際学会である日本都市学会が、この成果を今後、社会に打ち出されることを期待するものです。

お陰様で、皆様のご尽力により学会運営は順調に進み、任期中の北九州・高松・京都大会もそれぞれ地域的特色を出しつつ新しい都市づくり・都市政策に資する学会としての責務を果たせたと思います。2015年の大会は個人的に関係の深い上越市で新幹線と都市をテーマに開催されますが、この大会を含め、これからも都市学会の発展に一会員として尽力して参りたいと存じます。

会員の皆様、理事・常任理事各位、とりわけ事務局局長としてお世話になりました吉川忠寛(関東)と杉野尚夫(中部)の両氏に感謝申し上げます。最後になりますが、堂前亮平新会長を中心に都市学会が益々発展しますことを祈っています。ありがとうございました。

堂前亮平新会長 就任ごあいさつ

堂 前 亮 平

昨年日本都市学会会長に選出され、本年4月から戸所隆前会長の後を引き継ぎ学会の運営にあたることになりました。あまりにも大きな役職に大変身の引き締まる思いでおりますが、会員・役員の皆様のご指導やご協力を得ながらしっかりと職務を果たしていきたいと思っております。

日本都市学会は1953年(昭和28)に設立され、60余年の歴史をもつ、会員数約600名を擁する老舗の学会であります。本学会の特色の一つとして多分野の学問の結集があります。都市という複合的な事象を解析し都市の実態に迫る研究や、それぞれの時代において抱える都市問題にも果敢に挑戦してきました。このような都市研究において多分野の視点は都市の全体像を把握するために必要であり、都市学会の役割はここに在ると言えましょう。

現代日本の都市を取り巻く社会状況は大きく変わってきました。すなわち社会のグローバル化、少子高齢化に伴う人口減少社会、情報化社会、高速交通ネットワークによる人々の大量移動社会、多発する災害などです。これらのことは、日本における都市の変化や在り方にも影響しています。大都市圏の人口膨張や地方都市の人口減少に伴う疲弊などです。このことは、地方創生ということが声高に叫ばれている今日、本学会の果たす役割も大きなものがあると思います。

本学会は、地域都市学会の連合体であります。地域都市学会はそれぞれの地域で生まれ、育ってきた歴史を持っており、それぞれの地域の都市を見つめてきた研究集団でもあります。今こそ、各地域都市学会の研究活動が期待されている時代であると思われれます。

最後になりましたが、都市研究が一層発展するようにその環境づくりに大変ご尽力をいただきました戸所前会長からたすきを引き継ぎまして、大変微力ではございますが、都市に関心を寄せる多くの人々をさらに結集し、本学会のさらなる発展に向けて力を注いでいきたいと思っております。

会員・役員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます、私の就任挨拶とさせていただきます。

堂前亮平新会長略歴紹介

- 1944年 岐阜県飛騨市で出生
- 1972年 立正大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程単位取得満期退学
- 1976年 文学博士
- 1977年 沖縄国際大学講師、助教授、教授
- 1992年 久留米大学文学部教授、文学部長・理事を経て久留米大学名誉教授、特任教授
- 1973年から日本都市学会会員となり、2003年に日本都市学会理事、2013年からは九州都市学会会長を歴任。著書に『沖縄の都市空間』（日本都市学会賞受賞）、『日本の地誌 九州・沖縄』ほか多数。

日本都市学会第62回大会を開催します

日本都市学会第62回大会は、2015年10月30日(金)から11月1日(日)の間、新潟県上越市のホテルハイマートを会場として、「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」をテーマに、下記のスケジュールで開催されます。

研究発表をご希望の方は、8月6日(木)必着で、関東都市学会事務局までお申し込み下さい。詳細は、別途お送りする「大会開催のお知らせ」あるいは日本都市学会ホームページをご覧ください。

プログラムは9月上旬に決定しますので、その後お手元にお届けする予定です。

大会スケジュール

- 10月30日(金)
 - 午後 エクスカーション
- 10月31日(土)
 - 午前 研究発表 I
 - 午後 基調講演・シンポジウム
日本都市学会賞授賞式
日本都市学会総会
 - 夕方 懇親会
- 11月1日(日)
 - 午前 研究発表 II

2014年度第1回常任理事会報告

2014年度第1回常任理事会は、3月22日(日)13時30分から名古屋市内の名古屋都市センター第1会議室で開催され、戸所隆会長、森傑、土屋純(代理：松本行真)、熊田俊郎、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、堤昌文の各常任理事、堂前亮平次期会長、杉野尚夫事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

1 分散事務局報告

1-1 年報事務局

年報編集についての経過報告がありました。

1-2 学会賞事務局

学会賞等については推薦依頼中との報告があり、「論文賞選考委員会規程」を改正したいとのことでその骨子が提示されました。6月の理事会に成案を提出して改正することで了承されました。

1-3 論文審査事務局

論文審査の経過報告があり、不採択論文の著者から異議申し立てが1件あったことが報告されました。その審査の状況によっては年報への掲載が次年度になることもあり得ることを確認して、論文審査委員会には慎重な審査をお願いするということになりました。

2 第61回大会報告

京都大会の実績について報告がありました。その中で、大会参加者数の取扱について議論がありましたが、各大会事務局の考え方で整理することになりました。また、大会の収支については、後で大会を開催する地域学会の参考資料とするため、できるだけ詳細に情報提供をしてほしいとの要望がありました。

3 第62回大会について

関東都市学会より、大会の概要、大会テーマ、スケジュール、エクスカーションなどについて説明がありました。

4 2014年度事業報告および決算報告書

本部事務局より2014年度事業報告および決算見込について報告がありました。

5 2015年度事業計画および予算案

本部事務局より2015年度事業計画および予算案について説明がありました。なお、「新しい都市を考えるワーキング」について、一定の決着つける必要があるとの意見が出され、2016年度の岡崎大会の中で対応可能かどうか検討することになりました。

6 その他

6-1 北海道都市地域学会報告

北海道都市地域学会の活動内容について説明がありました。また、日本都市学会の支部機能の問題について議論がされました。

6-2 その他

本部事務局から、地域都市学会事務局からの名簿提出時期、会費納入時期などについてお願いがありました。

2015年度第1回理事会報告

2015年度第1回理事会は、6月7日(日)13時30分から名古屋市内の名古屋都市センター第2会議室で開催され、堂前亮平会長、増田聡、千葉昭彦、熊田俊郎、井上繁、西野淑美、林上、井澤知旦、碓井

照子、山崎健、堤昌文、浅見良露の各理事、田淵義英、土居洋平、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之の各常任理事、戸所隆大会担当、杉野尚夫事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

- 1 常任理事および理事の変更、交替について
8名の常任理事の指名がありました。また、理事等の交替などについて紹介がありました。
- 2 2014年度事業報告および決算報告案
 - 2-1 2014年度事業報告案
2014年度の事業報告について原案通り承認されました。
 - 2-2 2014年度決算案
2014年度決算案について、原案通り承認されました。
- 3 2015年度事業計画および予算案
 - 3-1 2015年度事業計画案
2015年度事業計画案について、原案どおり承認されました。なお、「新しい都市学を考えるWG」について、来年度開催の第63回大会の中で、そのためのセッションを設けて着地するなど検討することになりました。
 - 3-2 2015年度予算案
常任理事の理事会等出席旅費の本人負担分の上限について議論があり、審議の結果、本人負担をゼロとすることになりました。
- 4 学会賞担当事務局報告
論文賞選考規程の一部を改正する案について、審議の結果原案どおり改正することに決まりました。
本年度の日本都市学会賞（奥井記念賞）の応募が2件、日本都市学会賞特別賞（集団業績部門）の応募が1件、日本都市学会賞（まちづくり賞）の応募が1件あったことが報告されました。理事会終了後、各選考委員あて、候補関連資料を送付するとの報告がありました。
- 5 論文審査担当事務局報告
論文賞担当事務局から、2014年度における論文審査状況について、投稿数37件、不受理2件、採択30件、不採択5件との報告がありました。
- 6 年報担当事務局報告
年報担当事務局から、年報VOL48号についての編集経過および今後の編集体制等について報告がありました。
この中で、学会発表をしていない論文が無審査論文として投稿されている可能性について報告があり、今後はこうしたことがないように、きちんとルールを明記することになりました。
- 7 第61回大会報告
近畿都市学会から、第61回大会の開催経過および経費等について報告がありました。

8 第62回大会について

関東都市学会から、本年度開催する第62回大会について、大会テーマ、開催のお知らせ、エクスカッション等について報告がありました。

9 その他

中部都市学会から、第63回大会の開催概要の報告がありました。

第63回大会は岡崎市で開催します

日本都市学会第63回大会は、中部都市学会の担当で2016年（平成28）10月28日から30日までの予定で、岡崎市図書館交流プラザ（りぶら）で開催します。会員の皆様には、あらかじめ日程の確保をよろしくお願ひします。

学会賞等選考委員が決まりました

学会賞選考委員会の委員が次のように決まりました。

①日本都市学会賞（奥井記念賞）および日本都市学会特別賞（まちづくり賞）選考委員会

森傑（北海道）、田淵義英（東北）、土居洋平（関東）、磯部友彦（中部）、大塚俊幸（中部）、小長谷一之（近畿）、由井義通（中四国）、外井哲志（九州）

②日本都市学会論文賞選考委員会

増田聡（東北）、井上繁（関東）、西野淑美（関東）、林上（中部）、山崎健（近畿）、久隆浩（近畿）、寺谷亮司（中四国）、浅見良露（九州）

学会賞候補が出そろいました

日本都市学会賞（奥井記念賞）候補

①萩島 哲著『複眼の景観 ベルナルド・ベロット

構図を読む』九州大学出版会、2014.3.31発行

②佐藤彰男著『バングラデシュの船舶リサイクル産業と都市貧困層の形成』明石書店、2014.9.30発行
日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)候補

①近畿都市学会『都市構造と都市政策』古今書院、2014.3.31発行

日本都市学会特別賞(まちづくり賞)候補

①森傑：活動名「気仙沼市小泉地区の集団移転と復興まちづくり」報告書・著作物『大好きな小泉を子どもたちへ継ぐために—集団移転は未来への贈り物』

日本都市学会論文賞候補

①蟻正慎介・外井哲志・梶田佳孝『ネットワーク分析による都市観光の周遊構造と観光の満足度に関する研究—福岡市を事例として—』日本都市学会年報

46号

- ②平井太郎『広域災害における自治体間支援をめぐる社会学的課題—経験値と寄付金によって開かれた可能性—』日本都市学会年報46号
- ③李南君『天津市における産業集積の現状と発展方向について—日系企業のアンケート調査から—』日本都市学会年報46号
- ④久木元美琴・小泉諒『東京都における認可外保育所の供給格差と自治体独自事業の役割—「足立区小規模保育」の利用実態調査を中心に—』日本都市学会年報46号
- ⑤スミヤ ゲレルサイハン『公共牧場の在り方に関する考察』日本都市学会年報46号
- ⑥林浩一郎『多摩ニュータウンの中心と周縁—新文化都市開発の都市政治—』関東都市学会年報第15号
- ⑦細淵倫子『ジャカルタの巨大都市化とカンポン社会の変容』関東都市学会年報第15号
- ⑧劉英威『中国の都市近郊における大学城開発をめぐる諸問題—山東省済南市章丘大学城を事例として—』都市研究13号

2015年度日本都市学会役員(6.7現在)

- 会長** 堂前亮平 (九州)
- 理事** 増田聡 (東北)、千葉昭彦 (東北)、熊田俊郎 (関東)、井上繁 (関東)、西野淑美 (関東)、林上 (中部)、井澤知旦 (中部)、碓井照子 (近畿)、久隆浩 (近畿)、山崎健 (近畿)、寺谷亮司 (中四国)、豊田哲也 (中四国)、堤昌文 (九州)、浅見良露 (九州)
- 常任理事** 森傑 (北海道)、田淵義英 (東北)、土居洋平 (関東)、磯部友彦 (中部)、大塚俊幸 (中部)、小長谷一之 (近畿)、由井義通 (中四国)、外井哲志 (九州)
- 監事** 檜楨貢 (関東)、高山正樹 (近畿)
- 事務局長** 杉野尚夫 (中部)

分散事務局

- 本部事務局 (中部都市学会)
460-0008 名古屋市中区栄4-12-26
栄CDビル5A OASIS都市研究所内
TEL 052-252-7741 FAX 052-251-5058
事務局長：杉野尚夫
e-mail : info@toshigaku.org
- 年報担当事務局 (関東都市学会)
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
駿河台大学法学部 熊田俊郎研究室
TEL・FAX 042-974-7001 (直通)

- 責任者：熊田俊郎
e-mail : tkumada@surugadai.ac.jp
- 学会賞担当事務局 (中四国都市学会)
739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科社会認識教育研究室
内 責任者：由井義通
TEL・FAX 082-424-6804
e-mail : yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 論文審査担当事務局 (九州都市学会)
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学大学院工学研究院環境都市部門 (土木)
責任者：外井 哲志
TEL 092-802-3410 FAX 092-802-3361
e-mail : toi@civil.doc.kyushu-u.ac.jp

地域都市学会事務局

- 北海道 062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
都市地域 札幌大学女子短期大学部経営学科小山研
学 会 究室内 TEL 011-852-9342 (直通)
<e-mail> koyama-s@sapporo-u.ac.jp
- 東 北 970-8034 福島県いわき市平上荒川字
都市学会 長尾309
福島工業高等専門学校コミュニケーショ
ン情報学科田淵義英研究室気付
TEL 0246-46-0850
<e-mail> tabuchi@fukusima-nct.ac.jp
- 関 東 112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都市学会 東洋大学社会学部社会学科西野淑美研
究室内
TEL 03-3945-7453/FAX 03-3945-7453
<e-mail> y_nishino@toyo.jp
- 中 部 487-8501 春日井市松本町1200番地
都市学会 中部大学人文学部大塚研究室内
TEL 0568-51-9107/FAX 0568-52-0622
<e-mail> chubutoshi@isc.chubu.ac.jp
- 近 畿 〒599-8531 堺市中区学園町1-1
都市学会 大阪府立大学経済学研究科綿貫研究室
TEL/FAX 072-428-1761
<e-mail> kinkitoshi@mbn.nifty.com
- 中 四 国 739-8524 東広島市鏡山1-1-1
都市学会 広島大学大学院教育学研究科社会認識教
育学研究室内
TEL 082-820-2345/FAX 082-820-3724
<e-mail> yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 九 州 839-8502 福岡県久留米市御井町1635
都市学会 久留米大学経済学部・文化経済学科 畠
中昌教研究室内
TEL 0942-43-4411/FAX 0942-43-4797
<e-mail> masahata.kurume.univ@gmail.com